

海外留学部門

国際教育交流センター海外留学部門

岩城 奈巳・星野 晶成・村山 かなえ・宮崎 千穂・河嶋 春菜・孝森 めぐみ

はじめに

海外留学部門における平成27年度の活動を「情報提供」、「派遣学生への指導」、「語学強化の取り組み」、「海外の協定校に関する情報収集」、「新たな取り組みと活動」に分けて紹介し、最後に来年度に向けての課題を提示する。

1. 情報提供

海外留学部門における情報提供活動は、各種留学説明会（留学プログラム別、学部・研究科別、学位留学、保護者対象、奨学金など）、WEBサイト、メール配信、フェイスブック、パンフレットスタンド、学内掲示、帰国報告書や留学関連の図書貸出などを通して行っている。メール配信登録者は1023名、フェイスブック（アカウント名：名大海外留学室）登録者は708名である（2016年4月現在）。

〈説明会・各種セミナー〉

平成27年度に開催した各種情報提供は表1の通りである。4月には例年通り、毎日入門セミナーを開催し、その他各種情報提供、語学講座も継続しておこなった。新しい試みは、保護者説明会の実施、オープンキャンパス及びホームカミングデーに参加したことである。

〈第9回留学フェア〉

毎年、留学支援学生団体「留学のとびら」と共に主催している「名大生のための海外留学フェア」は、今年度で9回目を迎えた。第8回に引き続き今回も、交換留学から帰国した学生によるパネルディスカッションを行い、その後フリートークを行った。計50名程度の学生が参加した。

〈海外換留学シンポジウム〉

今回で第8回目を迎えたシンポジウムは、2016年1月20日に「これからの学生生活につなげよう!!! 短期研修で学んだこと」と題して開催した。平成27年度のNU-OTI科目の夏期短期研修に参加した学部学生3名が、授業の一環として参加した海外短期研修で何を学んだのか、これからの名古屋大学での学生生活にどのように活かしていこうと考えているのか、発表した。聴衆として約30名の学生等が参加した。

〈東海地区海外留学フェア〉

日本英語検定協会が主催、名古屋大学が共催となり、昨年度に引き続いて「東海地区海外留学フェア2015」を野依記念学術交流館で開催した。留学関係の団体がブースを出展し、主な対象国は、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドとなった。名大関係者のみならず、119名の高校生、大学生、及びその保護者が参加した。

〈フランス留学フェア〉

本年度は2つのフランス留学促進イベントを開催した。まず8月6日に、新しい試みとして「フランス留学説明会」を実施し、フランスからの交換留学生やフランス留学経験者の発表を中心とする対話式の説明会を行った。また、2年前からフランス大使館との協力により実施している「フランス留学フェア」を、本年度は会場を中央図書館に移して実施し、200名以上の来場者を得た。

〈危機管理〉

平成27年度は、全学生向けの危機管理オリエンテーションを、合計8回(前期:2015年6月24日, 7月15, 22, 30日, 8月5日, 後期:12月24日, 1月28日, 2月4, 18日)実施した。具体的には、渡航前後の準備、渡航中の安全を高める方法、海外旅行保険加入、そして、緊

急時の連絡体制についての構築について、案内と指導を行った。平成26年度は基礎版として昼休み時間に実施したが、平成27年度は内容を充実させ、1コマ分（90分）に拡大して実施した。交換留学、海外短期研修のほか、個人で留学・旅行する学生に対しても参加を必須とし、全学生に対して自らの危機管理を喚起させるためにオリエンテーションを機能させていく。なお、NU-OTI 全学教養科目に参加する学生に対しては、現地研修前の授業の一部として実施した。

2. 学生への指導

1) 個別相談

今年度の個別相談は1336件であった（表3）。また、メールでの相談は169件であった。

2) 派遣学生に対する指導

今年度、名古屋大学が紹介する様々なプログラムで留学する学生に対し、それぞれ以下の指導をおこなった。

〈全学間協定に基づく交換留学〉

・平成27年度派遣について

全学間協定に基づく交換留学によって今年度派遣される予定の学生に対し、出願から出発までの支援と指導を行った。派遣学生の一覧は表4の通りである。今回初めて派遣するのは、ミュンヘン工科大学、アーヘン工科大学、ボローニャ大学、西オーストラリア大学、新規協定校のオスロ大学、フロリダ大学、アイオワ州立大学である。

・平成27年度〈秋派遣〉について

来年度派遣分の交換留学生（全学間協定に基づくもの）については、8月の説明会より応募開始とした。今回募集した受入れ協定校は資料1の通りであり、62件の応募があった。そのうち、書類選考合格者は36名であった。交換留学実施委員会で構成される選考部会において個別面接をおこない、その結果、22名（条件付き合格2名含む）の交換留学候補者を選出した。その後、2名が辞退したため、20名の学生が候補者となった。さらに枠が空いている協定校について二次募集を行ったところ、29名の応募があり、書類審査で22名が合格、面接にて15名が追加合格となったが（条件付き

合格4名含む）、2名辞退したため、計33名の学生が秋派遣候補生となった。交換留学候補の所属部局、学年（応募時）、及び性別は、表4（右半分）の通りである。また、候補者決定通知の後、留学準備期間の過ごし方についてのオリエンテーションをおこない、早い段階から留学生としての自覚を促し自立心をもって準備に取り組むよう、説明した。このオリエンテーションでは留学先は異なっても、留学同期生と出会い、ネットワークを構築させ、情報交換を促進させることを同時に目指している。

・平成27年度〈春派遣〉について

昨年度に引き続き、従来の10月応募、翌年度8月以降出発の〈秋派遣〉に加え、6月応募、翌年度2月以降出発の〈春派遣〉交換留学を実施した。募集した受け入れ協定校は資料2の通りであり、応募は初年度であった昨年度の3倍以上となり、14名であったため、〈春派遣〉交換留学も、名大生への認知度が向上しつつあると言える。13名面接を行い、12名が合格した（条件付き合格7名）が、3名辞退したため、計9名の学生が春派遣候補生となった。選考方法、決定後のオリエンテーション実施は秋派遣と同様である（秋派遣参照）。

〈名古屋大学長期留学支援プログラム〉

今年度は、3名の学生より応募があった。3名とも書類審査合格したが、1名は別の奨学金に合格したため、面接を辞退した。結果、1名採用された。

〈協定校主催の短期研修〉

本年度は、夏・春合わせて、15プログラムに155名の学生が参加した（詳細は表5を参照）。

3. 語学強化の取り組み

〈特別英語セミナー〉

前期に特別英語セミナーを開講した。この講義は、TOEFL iBT の特にライティングに特化して開講するもので、全学の留学希望者に向けて開講している。受講した1名が交換留学候補生となった。

〈留学準備 IELTS 講座・夏〉

昨年度から引き続き、大学改革経費からの支出、愛知教育大学・三重大学・名古屋大学の三大学連携事業

として、IELTS 準備と留学準備をともに行う集中講座を、8月17日から8月28日の計10日間で実施した。受講者は計31名で、全学問または部局間交換留学に出願したい学生が参加し、愛知教育大学からは1名、三重大学からは2名の学生が受講した。全受講学生のうち21名は、受講後受験した IELTS の合計点が0.5点以上上昇した。また、全受講学生のうち、来年度派遣の交換留学の学内選考に13名が出願し、5名が派遣内定となった。残りの受講学生は、再来年度派遣に向けて準備を続けている。講座終了後のアンケートによると、全受講学生の約8割は、当講座を通じて海外留学のための英語スキルの向上の手助けになり、海外留学の準備を始められたと回答した。

〈留学準備 TOEFL iBT 講座・春〉

昨年度から引き続き、大学改革経費からの支出、愛知教育大学・三重大学・名古屋大学の三大学連携事業として、TOEFL iBT 準備と留学準備をともに行う集中講座を、3月11日から3月24日の計9日間行った。受講者は計18名で、全学問、または部局間交換留学に出願したい学生が参加し、愛知教育大学からは3名、三重大学からは2名の学生が受講した。講座終了後のアンケートによると、全受講学生の約9割以上は、当講座を通じて海外留学のための英語スキルの向上の手助けになり、海外留学の準備を始められたと回答した。また、当講座より、受講学生が経費の一部を受講料として負担するように設定したため、1名につき10,000円、計180,000円を徴収し、必要経費の削減が可能となった。来年度以降も、留学準備集中講座については、受講生が経費の一部を受講料として支払うことで、事業の自立的な継続に向けた対策に取り組みたい。

〈Weekend TOEFL iBT 講座〉

昨年度から引き続き、将来、海外留学を希望している学生を対象に、春・秋学期の開講期間中に大学改革経費からの支出、愛知教育大学・三重大学・名古屋大学の三大学連携事業として、Weekend TOEFL iBT 講座を開講した。TOEFL iBT をまだ受験したことがなく、英語の基礎力強化を目標とした入門クラスと、TOEFL-iBT を受験したことがあり、総合点で80点以上を目指す応用クラスの2種類を設けて実施した。春学期は、入門クラスには、名古屋大学3名、三重大学8名、愛知教育大学2名の計13名の学生が参加した。全受

講生のうち2名は、今年度3月開講の留学準備 TOEFL iBT 講座・春も受講して長期留学の実現を目指している。応用クラスには、名古屋大学9名、愛知教育大学1名の計10名の学生が参加した。うち5名が、所属大学の学内選考により、来年度派遣の交換留学生として内定した。秋学期は、入門クラスには、名古屋大学の学生のみ計20名が参加した。三重大学は、同様の講座を三重大学内で開講した。また、TOEFL iBT の受験経験を増やして海外留学が実現できる学生数を更に確保することを目的とし、秋学期より、受講生には講座の前後に TOEFL Practice Online の受験を課し、スコア提出を義務づけた（受験料は受講者負担）。結果として、全受講生のうち、1名は所属大学の学内選考により、来年度派遣の交換留学生として内定し、3名は今年度の短期海外研修に参加し、2名は今年度3月開講の留学準備 TOEFL iBT 講座・春も受講し長期留学の実現を目指している。

さらに、今年度より初の試みとして、秋学期に、留学対策 IELTS 週末1日講座を実施し、名古屋大学11名、三重大学2名の計13名の学生が参加した。全受講生のうち、1名は所属大学の学内選考により、来年度派遣の交換留学生として内定し、1名はトビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム第4期生に選ばれ、3名は今年度の短期海外研修に参加し、1名は今年度3月開講の留学準備 TOEFL iBT 講座・春も受講し、長期留学の実現を目指している。また、一日完結型の英語スピーキング自習対策講座も、初めて実施し、名古屋大学27名、三重大学1名、愛知教育大学1名の計29名が参加した。全受講生のうち、2名は所属大学の学内選考により、来年度派遣の交換留学生として内定し、4名は今年度の短期海外研修に参加し、8名は今年度3月開講の留学準備 TOEFL iBT 講座・春も受講し、長期留学の実現を目指している。9割以上の学生が、授業内容がニーズにあったものであり、海外留学のための英語スキル向上の手助けになったと回答したため、来年度も引き続き、IELTS 対策や英語スピーキング自習対策の講座実施を検討している。

4. 海外の協定校に関する情報収集

海外留学に関する情報収集活動は以下の通りである。

・4/1 マニトバ大学関係者来訪

- ・ 4/2 SOAS 関係者来訪
- ・ 4/3 リーズ大学関係者来訪
- ・ 4/23 モナシユカレッジ関係者来訪
- ・ 4/23-24 AC21運営委員会@フライブルグ大学
- ・ 5/11 ニューカッスル大学関係者来訪
- ・ 5/18 オクラホマ州立大学関係者来訪
- ・ 5/24-5/29 NAFSA 年次総会出席@ボストン
- ・ 5/26 オーフス大学関係者来訪
- ・ 6/29 ノースカロライナ州立大学関係者来訪
- ・ 7/3 リーズ大学関係者来訪
- ・ 8/7-8/15 インドネシアガジャマダ大学訪問 (研修引率・現地指導)
- ・ 8/30-9/10 ノースカロライナ州立大学訪問 (研修引率・現地指導)
- ・ 9/8-9/18 カナダ新規協定校開拓・大学訪問
- ・ 9/8-9/19 世界経済外交大学, タシケント国立法科大学, サマルカンド国立法科大学訪問 (研修引率・現地指導)
- ・ 9/14 エジンバラ大学訪問
- ・ 9/15-18 EAIE 年次総会出席@グラスゴー
- ・ 9/20-22 リーズ大学訪問, 英国新規協定校開拓・大学訪問
- ・ 10/6 香港中文大学関係者来訪
- ・ 10/6 ウブサラ大学関係者来訪
- ・ 10/7 アーヘン工科大学関係者来訪
- ・ 10/28 ウェストバージニア大学関係者来訪
- ・ 11/18 漢陽大学関係者来訪
- ・ 11/20 エジンバラ大学関係者来訪
- ・ 12/2-12/6 香港協定校訪問 (香港大学・香港中文大学)
- ・ 12/11 南イリノイ大学関係者来訪
- ・ 1/27-30 海外事務所ミーティング@上海
- ・ 2/3-2/6 タイ出張 NU-OTI 広報
- ・ 2/18-2/25 チュラロンコン大学訪問(研修引率・現地指導)
- ・ 2/27-3/5 APAIE 年次総会出席@メルボルン
- ・ 2/27-3/8 エジンバラ大学訪問 (研修引率・現地指導)
- ・ 3/2 ルーベン・カトリック大学関係者来訪
- ・ 3/9-3/15 サマルカンド国立大学, タシケント

- 国立法科大学訪問
- ・ 3/14-18 ストラスブール大学およびフライブルク大学訪問
- ・ 3/16 セントアンドリュース大学関係者面談
- ・ 3/21-22 木浦大学校訪問
- ・ 3/29 セントアンドリュース大学関係者来訪

5. 新たな取り組みと活動

〈NU-OTI 全学教養科目の展開〉

平成26年度のスーパーグローバル事業申請・採択に伴い、NU-OTI (Nagoya University Overseas Take-off Initiative) を立ち上げ、平成27年度より教養教育院開講科目として本格的に始動した。合わせて4つの科目を開講し、それぞれ名古屋での学習と海外での学習をあわせた教養学習として構成した。米国とウズベキスタンでの研修を含む科目については前期から夏休みにわたり、タイと英国で研修を実施する科目については後期から春休みにわたり、研修を含む授業を実施した。今年度は、この枠組みであわせて70名の学生が履修した。全ての授業で、学生が渡航後の口頭報告を行ったほか、「ウズベキスタンシルクロードの文化環境学習・海外研修」科目では、学生の調査成果を出版物としてまとめた(『ウズベキスタンへの架け橋』)。また、平成28年度のNU-OTI 科目の更なる充実と展開を目指し、欧州および韓国の諸大学と新たな協力体制を構築している。なお、NU-OTI 始動前の平成25年度中の構想の概要を日本学生機構発行『留学交流』2016年3月号に掲載した(「Nagoya University Overseas Take-off Initiative (NU-OTI) —海外事務所を活用した「講義一体型」海外短期研修の取り組み—」)。

〈モナシユ大学夏季短期研修 Global Professionals Program〉

2014年度まで、夏季に実施するモナシユ大学短期研修は、一般英語コースで実施していたが、2015年度より、多文化環境で働くためのスキルを英語で身につける Global Professionals Program (GPP) で実施することとなった。名古屋大学4名、三重大学2名の計6名で実施した。2016年度は、NU-OTI 科目として GPP を夏季に実施するとともに、総長奨励生参加プログラムとし

全学教養科目特別講義授業名	海外拠点名	研修先国
アメリカの大学生生活とビジネス・海外研修	Nagoya University Technology Partnership	米国（協定校：ノースカロライナ州立大学）
ウズベキスタンシルクロードの文化環境学習・海外研修	ウズベキスタン事務所	ウズベキスタン（協定校：タシケント国立法科大学，世界経済外交大学，サマルカンド国立大学）
タイにおける日系企業のグローバル展開学習・海外研修	バンコク事務所	タイ（協定校：チュラロンコン大学）
スコットランド地域研究・海外研修	—	英国（提携校：エジンバラ大学）

でも実施する。

〈新規協定校開拓〉

本学全学協定では数が少ない北欧圏での協定校を新規で増やすため、NUPACE オフィスと協議の上、オーフス大学（デンマーク）、オスロ大学（ノルウェー）を訪問し、全学間交換留学ができるよう打診を行った。また、EAIE2015にて、アイスランド大学（アイスランド）、ルーヴァン・カトリック大学（KU Leuven・ベルギー）とも、全学間交換留学ができるよう協議した。結果として、全ての大学と、基本協定と全学間学生交換協定を締結することができた（KU Leuven は、2016年度中に協定締結予定）。

2015年3月に、北米における新規協定校開拓を目的に候補大学をリストアップし、NUPACE 関係者と議論して適切な大学を選出した。その中で、フロリダ大学とアイオワ州立大学と順調に協議が進み、2015年5月のNAFSA 年次総会で最終的な打ち合わせを行い、無事協定締結に至った。また、2015年9月のカナダ新規協定校開拓の出張の際に訪問した、カルガリー大学とも協議が順調に進み、2016年3月のAPAIE 年次総会で最終的な打ち合わせを行った。4月中に協定締結見込みである。

〈NAFSA ブース出展〉

2014年度までは、国際教育交流センターの教職員が個人研究、またはSD/FD 目的でNAFSA 年次総会には参加していた。今年から国際プログラム部門（旧留学生受入部門：NUPACE）と協働して、JAFSA が取りまとめる日本ブース内にて、名古屋大学として初めてブースを出展した。出展の目的としては、①現協定校担当者との交換留学プログラムについての調整・議論（特に交流人数が偏っている大学とこれまで交換実績が少ない大学を中心に）及びNUSTEP（日本語短

期プログラム）の広報、②新規協定校候補とのプログラム内容や協定書に関する議論・交渉、③日本ブース内の参加大学関係者との情報交換、④セッション等へ参加し、国際教育交流の情報収集を掲げた。結果、フロリダ大学、アイオワ州立大学、オスロ大学の新規協定校大学の担当者と充実した協議が実現した場としてもとても有効であった。また現協定校の担当者とも過去の交換学生人数の確認や最新の情報を共有することで、交換留学の活性化の原動力となった。2016年度も出展は決定しており、今後も継続的に出展していくことで国機機構会議にて承認を得た。

〈保護者説明会〉

留学制度、大学の国際化の取り組みについて保護者への説明会を実施した。参加人数など手探りであったが、午前、午後併せて181名の参加があった。この結果を受け、来年度以降も継続して説明会を実施する予定である。

〈オープンキャンパス、ホームカミングデー参加〉

オープンキャンパスでは本学への入学希望者、ホームカミングデーでは卒業生に向け留学制度、大学の国際化の取り組みについての説明会を実施した。オープンキャンパスでは高校生の保護者、ホームカミングデーでは在学生の保護者の参加が多く、301名が参加した。

〈留学積立金〉

今年度より任意加入の制度で毎月1万円を積み立て、留学時に使用することがができる積立金制度を開始した。加入者は、積み立てた金額が留学費用に満たない場合、本学の貸付金制度（無利子）を利用して、留学費用に充てることができ、貸付金の返済は卒業時までに行うというものである。特徴は、1年生の8月に開催

される研修に参加する学生の場合、積立額は5カ月間(4・8月)＝5万円のみであるが、最大48万円(12カ月×4年間)の支援を留学積立金から前借りして捻出することができる点である。前借りした分は、卒業するまでの在学期間中に毎月1万円を返還していくという仕組みで、初年度52名の学生申し込みがあった。

〈Web 受付システムの導入〉

留学プログラムおよび講座、説明会、シンポジウム等の一連の受付業務を軽減するため、Web 受付システムを導入した。これにより、申込者への連絡、申込者数の把握、申込者のデータ管理が容易になり、申込者との連絡やデータ作成にかかる時間を削減することができた。

〈留学写真展〉

「写真で綴る留学ストーリー」と題して、学生から写真を集め、写真パネルを制作し、中央図書館ビブリオサロンにて初開催した(1/19-29, 3/3-17)。目的は①留学の魅力を学内および高校生へ紹介し、留学への興味関心を高める、②留学経験者に留学成果を還元できる

場を提供し帰国後の導線を提示することで、留学生生活の充実および帰国後の学生生活へ繋げる、の二点である。中央図書館という立地を生かし、同時に留学相談会も実施、海外留学室まで足を運ばない学生に対し留学周知を行うことができたので、来年度以降も実施していきたい。作成した写真パネルは、今後もイベント等で展示し、高校等への貸出も希望があれば行う。

おわりに：今年度の総括と来年度への課題

今年度は新たに助教2名が海外留学部門に加わり、5名の教員＋事務補佐員の6名体制で運営を行った。毎年さまざまな新しいことにチャレンジし、成長している海外留学部門であるが、今年度はNU-OTI科目の本格的始動とそれに伴う教養教育院での授業実施、新規協定校の拡充、さらに、保護者説明会や全学イベントでの留学告知など特に大きく飛躍できた年であったといえる。3月の改組で国際機構所属となり、さらなるNU-OTI科目開発、継続しての新規協定校開拓を目指し、来年度も幅広く活動していきたい。

表1 平成27年度 セミナー・説明会・オリエンテーション等開催記録

内容	日時	計
海外留学入門セミナー	4/13-30, 毎週火曜日	220
新入生ガイダンス	4/6	2250
韓国交換留学説明会	4/8	5
短期研修説明会 (UC デービス)	4/10	18
交換留学 説明会 (春派遣)	4/15, 22	6
部局別留学説明会 (保健学科)	4/21	41
部局別留学説明会 (経済学部)	4/22	40
交換留学 オリエンテーション (2015秋渡航)	4/22	42
短期研修説明会 (夏合同)	4/27, 28, 30, 5/18-22, 5/25-29, 7/6	157
部局別留学説明会 (国際言語文化研究科)	4/27	7
留学準備講座説明会 (IELTS・夏)	4/28, 5/12, 20	33
短期研修説明会 (モナシュ大学 GPP)	4/28	11
部局別留学説明会 (工学部・研究科)	4/30	46
海外ボランティア説明会 (CIEE 主催)	5/11	10
部局別説明会 (法学部・研究科)	5/12	0
名大の海外留学プログラム説明会 (保護者対象)	5/16	181
部局別留学説明会 (文学部)	5/20	1
部局別留学説明会 (教育学部・研究科)	5/27	3
短期研修説明会 (ノースカロライナ)	6/3	28
短期研修説明会 (ウズベキスタン)	6/3	8
危機管理オリエンテーション (前期)	6/24, 7/15, 22, 30, 8/5	49
TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム説明会 (SAF 主催)	6/29	9
春の短期研修プログラム説明会	7/6, 13, 21, 8/6	21
交換留学 オリエンテーション (2015春渡航)	7/8, 10/28, 12/16	27
交換留学 説明会 (秋派遣)	7/9, 16, 8/6, 28	84
海外大学院留学説明会 (米国大学院学生会主催)	7/10	19
交換留学 オリエンテーション (2015秋渡航)	7/1	40
部局別留学説明会 (理学部・研究科)	7/23	13
フランス・ドイツ留学説明会	8/6	29
オープンキャンパス留学説明会	8/7, 10, 11	360
Business Design Workshop / Contest	8/7	19
留学準備講座 (TOEFL-iBT)	8/17-8/28 (計10日間)	310
短期研修説明会 (モナシュ春)	10/1	44
韓国留学説明会	10/7	8
短期研修説明会 (春合同)	10/14, 28	28
ホームカミングデイ2015	10/17	69
フランス留学日本縦断プロモーションツアー	10/21	250
東海地区留学フェア	10/24	90
推薦入試合格者向け留学説明会 (生協主催)	12/5	40
交換留学 説明会 (秋派遣2次)	12/8, 15	20
シンガポール工科・デザイン大学説明会	12/8	9
交換留学 オリエンテーション (2016秋渡航)	12/9, 2/10	56
語学講座説明会 (TOEFL-iBT・春)	12/15, 1/13	11
危機管理オリエンテーション (後期)	12/24, 1/28, 2/4, 18	35
留学シンポジウム	1/20	24
留学写真展	1/18-1/29, 3/3-3/19他	314
世界を舞台に働く! 連続講座	3/11	51
留学準備講座 (IELTS)	3/11-3/24 (計10日間)	180
交換留学 説明会 (春派遣)	3/24	24
計		5340

表2 平成27年度 海外留学入門セミナー月別出席者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者数	99	29	32	27	0	0	23	2	2	6	0	0	220

表3 平成27年度 海外留学個人相談月別利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面談件数	143	155	138	112	87	91	189	107	90	77	106	56	1351
メール相談件数	32	54	29	24	30	-	-	-	-	-	-	-	169
計	175	209	167	136	117	91	189	107	90	77	106	56	1520

表4 全学間学術交流協定に基づく交換留学生の派遣予定数

*学部研究科・学年はすべて応募時の所属に基づきます

表4-a 平成27年度秋派遣 計42名

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 計9名	中国	香港大学	経済学部	U3
			国際言語文化研究科	M1
			文学研究科	M1
		香港中文大学	教育学部	U2
			情報文化学部	U2
		上海交通大学	経済学部	U3
		復旦大学	文学部	U2
		北京大学	法学部	U3
	カンボジア	王立プノンペン大学	農学部	U4
ヨーロッパ 計20名	イギリス	ウォリック大学	農学部	U4
		リーズ大学	情報文化学部	U2
			理学部	U2
		ロンドン大学 SOAS	工学部	U2
			法学部	U2
	ドイツ	ケムニッツ工科大学	法学部	U2
		フライブルク大学	文学部	U3
		ミュンヘン工科大学	経済学部	U2
	デンマーク	コペンハーゲン大学	教育学部	U3
			情報文化学部	U2
	スウェーデン	ウプサラ大学	医学部	U2
			教育学部	U3
		スウェーデン王立工科大学	情報文化学部	U2
			理学部	U2
	フランス	パリ第七大学	文学研究科	M1
		リヨン第三大学	文学部	U2
	スイス	ジュネーブ大学	経済学部	U2
			理学部	U4
	ポーランド	ワルシャワ大学	経済学部	U2
			文学部	U2
北米 計13名	アメリカ	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	医学部	U1
		ケンタッキー大学	情報文化学部	U2
			文学部	U2
		シンシナティ大学	工学部	U2
			工学部	U4
		セントオラフ大学	教育学部	U2
			経済学部	U2
			情報文化学部	U2
		ノースカロライナ州立大学	工学部	U2
		ミネソタ大学	文学部	U2
		南イリノイ大学カーボンデール校	経済学部	U2
			工学部	U3

表4-b 平成27年度春派遣 計9名

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 計1名	韓国	漢陽大学校	情報文化学部	U2
オセアニア 計8名	オーストラリア	アデレード大学	経済学部	U2
			文学部	U3
		シドニー大学	経済学部	U1
		フリンダース大学	医学部	U2
		モナシュ大学	文学部	U2
		西オーストラリア大学	情報文化学部	U3
			農学部	U3
	南オーストラリア大学	経済学部	U3	

表4-c 平成28年度秋派遣 計33名(渡航予定)

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 計4名	タイ	チュラロンコン大学	経済学部	U3
	中国	清華大学	情報文化学部	U2
		復旦大学	経済学部	U1
		香港大学	文学研究科	M1
ヨーロッパ 計16名	ドイツ	アーヘン工科大学	経済学部	U2
			工学部	U2
		フライブルク大学	文学研究科	D1
			文学部	U4
		ミュンヘン工科大学	経済学部	U2
			工学部	U4
	デンマーク	コペンハーゲン大学	経済学部	U2
			文学部	U3
	スウェーデン	ウプサラ大学	教育学部	U2
			工学部	U4
	フランス	ストラスブール大学	経済学部	U2
		リヨン第3大学	文学部	U2
	イタリア	ボローニャ大学	医学部	U4
	スイス	ジュネーブ大学	文学部	U2
ノルウェー	オスロ大学	教育学部	U2	
英国	リーズ大学	医学部	U3	
北米 計13名	カナダ	モントリオール大学	医学部	U3
		ヨーク大学	法学部	U3
	アメリカ	アイオワ州立大学	工学部	U4
		イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	経済学部	U3
			工学部	U3
		ケンタッキー大学	工学部	U2
		シンシナティ大学	経済学部	U2
		ニューヨーク大学	経済学部	U2
			情報文化学部	U2
		フロリダ大学	経済学部	U2
		ミネソタ大学	教育学部	U4
		南イリノイ大学カーボンデール校	国際言語文化研究科	D2
		情報文化学部	U2	

表5 短期研修プログラム参加者数

	大学名など	国名	25年			26年		27年		内容等
			参加者	参加者	単位 認定	参加者	単位 認定	参加者	単位 認定	
夏	タシュケント・サマルカンド大学	ウズベキスタン	-	-				11	○	全学教養科目特別講義
	ノースカロライナ州立大学*	米国	-	-				34	○	全学教養科目特別講義
	モナシユ大学 (Business-GPP) *	豪州	-	-				4		語学学習 (ビジネス英語)
	モナシユ大学*	豪州	12	14				-		語学研修 (英語)
	同済大学ワークショップ	中国	-	-				4		テーマ学習
	ガジャマダ大学	インドネシア	7	8				5		テーマ学習
	フライブルク大学	独国	4	10				28		協定校語学研修 (ドイツ語・英語)
	梨花女子大学校	韓国	4	6				4		協定校語学研修 (韓国語)
	国立中正大学	台湾	1	5				1		協定校語学研修 (中国語)
	香港中文大学	中国	-	3				0		協定校語学研修 (中国語)
	延世大学校	韓国	1	0				0		協定校語学研修 (韓国語)
	カルフォルニア大学デービス校	米国	5	9	○			-		言語文化Ⅲ文化事情
	同済大学*	中国	25	10				12		言語文化Ⅲ文化事情
春	チュラロンコン大学	タイ	-	13	○			9	○	全学教養科目特別講義
	エジンバラ大学	英国	-	-	○			11	○	全学教養科目特別講義
	国立台湾大学	台湾	-	1				0		協定校語学研修 (中国語)
	フライブルク大学 (英語)	独国	-	4				4		協定校語学研修 (ドイツ語・英語)
	モナシユ大学	豪州	34	27	○			28	○	言語文化Ⅲ文化事情
	フライブルク大学 (独語) *	独国	15	26	○			20	○	言語文化Ⅲ文化事情
	ストラスブール大学	仏国	15	19	○			0	○	言語文化Ⅲ文化事情
	計		123	155			175			

*三大学連携